

2-5		主題	口腔ケアの意識向上に向けて	
意識向上		副題	～より良い口腔内環境を目指して～	
研究期間	14ヶ月	事業所	社会福祉法人 浴風会 第三南陽園	
発表者：野中 洵		アドバイザー：協力歯科医療機関一同		
共同研究者：木全 智子、鶴田 陽子、梅沢 絵理				
電話	03-3334-2193	メール	info-dai3@yokufuukai.or.jp	
FAX	03-3334-2198	URL	http://www.yokufuukai.or.jp/	

今回発表の事業所やサービスの紹介	社会福祉法人浴風会が平成14年に開設した3番目の特別養護老人ホームで入所207名、ショートステイ15名の計222名の施設です。 サービス指針の、『笑顔のある、あたたかく穏やかに過ごせる我が家』『心安らぎ、寄り添い助け合える我が家』のもとサービスを提供しています。
------------------	--

<p>《研究前の状況と課題》</p> <p>口腔ケアは誤嚥性肺炎の予防や口腔機能の維持、回復等に有用性が謳われているが、実際の現場においてはなかなか時間が作れておらず、ケア方法が曖昧であったり、ケア用品が汚れている等、口腔ケアに対する職員の意識は他のケアに比べると決して同等とは言えない現状が見られた。</p> <p>また、現在週に一度協力歯科医療機関（訪問歯科）が来ているが、訪問歯科との連携が上手く回っていないことがあった。</p> <p>そのため、口腔ケア委員を中心に職員の意識の向上を図る取り組みを行うこととした。</p> <p>また、取り組みを行っていく上で口腔ケア委員だけでは知識・技術に乏しい面もあるため、訪問歯科の協力、指導を仰ぎ各階に応じた口腔ケアを取り組んだ。</p>	<p>《研究の目標と期待する成果》</p> <p>訪問歯科との連携を図り、相談できる環境を作ると共に、職員が口腔ケアに関する知識を身につけ、口腔ケアに対し関心を持つ。それをきっかけとし、訪問歯科との連携が増え、より良い口腔ケアが行える事と共に、職員の意識向上を目指す。</p>
--	--

《具体的な取り組みの内容》

・各階によって職員の口腔ケアに対する意識が異なるため、各階の現状に合わせた取り組みを行う。また、訪問歯科の協力、指導のもと、全職員を対象にした口腔ケア体験を実施する。

各階の取組

2階：『職員間や訪問歯科と職員の伝達があまりできていない』

⇒ 訪問歯科とのホットラインの使用を推進し口腔ケアの質を上げる。

3階：『各利用者に合った口腔ケアが行えていない』

⇒ ケア方法とケア用品を全て見直し正しいケアを身につける。

4階：『口腔ケアに対する関心が薄い』

⇒ 口腔ケア体験を受け興味を持ってもらう。

5階：『自立されている方が多いがケアが充分ではない』

⇒ 義歯使用者は、全員毎食後義歯を外して洗浄を行っていく。

・全職員を対象に、口腔ケアに対する意識調査の為にアンケートを実施。取り組み前後でどのような成果を上げたか比較する。

《取り組みの結果と評価》

- ・ 専門職の指導を受けることにより、職員の意識が向上され、根拠に基づいた口腔ケアの実施が可能となった。
- ・ 訪問歯科からも、活動以降職員からの質問が増えた、技術や知識は全職員が平均して高くなってきている等の評価をもらった。
- ・ アンケートから取り組みを行う前後では職員の意識が向上していることが分かった。
- ・ スタート地点では、各階口腔ケアの状態がバラバラであったが、最終的には『利用者の方それぞれに合った正しい口腔ケアを確実に行う』という共通した目標にたどり着いた。

《まとめ》

今後は、取り組んできたことを継続し、各階で見えてきた新たな課題の解決が必要である。職員のケアに対する意識の向上は、利用者の方々の生活の質に繋がっていく為、口腔ケア委員をはじめ、より良い口腔ケアが行える環境整備に努めて行かなければならない。

《提案と発信》

【メモ欄】